

**ベネズエラ避難民への連帯を示す
国際ドナー会合
宇都副大臣ビデオ・メッセージ**

ご列席の皆様、日本国外務副大臣の宇都隆史です。

昨年に続き、この重要なベネズエラ避難民に関する国際ドナー会合に参加する機会を頂き感謝を申し上げますとともに、ベネズエラ危機に対するカナダ、UNHCR及びIOMのリーダーシップに感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く中、引き続きベネズエラ避難民に門戸を開いている周辺国に対し、深い敬意を表します。

日本政府は、ベネズエラの政治・経済・社会情勢の悪化の継続、さらには昨年来続いている新型コロナウイルスの流行が、特に脆弱な状況に置かれているベネズエラ国民に深刻な影響を及ぼし、また、約560万人に及ぶベネズエラ避難民の流出により、周辺国を含め地域規模で影響が及んでいることを深く懸念しています。

悪化するベネズエラを巡る人道状況を改善するため、日本政府は、2017年以降、ベネズエラ避難民支援として子供たちの保護、食糧援助や医療機材供与など、新規の支援も含め累計約4,400万ドルの支援を行っています。

特に、昨年のドナー会合以降も、ベネズエラ避難民問題に関する資金ギャップに対応するため、積極的に支援を継続し、ペルーにおけるIOMを通じた食糧支援や職業訓練及び受入れ能力強化支援、UNICEFを通じたベネズエラ国内のワクチン接種支援

等、約1,000万ドルの支援を行ってきています。

また、ベネズエラ国民にとって、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きな挑戦となっています。

日本政府は、新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、ワクチンをベネズエラ国民一人一人に届けるための「ラスト・ワン・マイル支援」として、UNICEFを通じベネズエラに235万ドルを拠出し、コールドチェーン整備を行うことを決定いたしました。

本支援は、日本政府が各国におけるワクチン接種を加速すべく、既に2億ドルを拠出したCOVAXファシリティの枠組みを補完するものです。

日本政府は、国際社会とともに、こうした取り組みを通じて、避難民を含むベネズエラ国民への民生支援及び影響を受ける周辺国に対する支援を継続し、状況の改善に貢献していく所存です。

最後に、ベネズエラの人道情勢の根本的改善のためには、人道支援のみならずベネズエラ憲法秩序に基づく、民主主義の平和裏の回復が重要です。そのような観点から、日本政府は、ベネズエラにおける民主主義の回復に向け、広範な国民参加を得た平和的かつ建設的な取組が進められることを求めます。

ご清聴ありがとうございました。

(了)